



世界におけるインフレと新たなエリートたちの現実

令和 8 年 1 月 1 4 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これら世界における変化は新たな生活水準と新たな社会の形成を与えるものである。これらインフレという現実において通常の生活を求めることは、唯一生活の構築を与えるものであり、それらは新たなエリートたちがそれら新たな未来を受け継ぐことを意味するものであると考える。

これら通常の生活の構築を求めることは、新たな現実におけるその要求や基準において自己を行う必要性を与えられるのである。

これら世界におけるグローバリズムとこれら新たな現実への転換は、生活の構築において新たな要求を提案するものであり、エリートたちの新たな生活スタイルは、その変化において現実を受け継ぐものであると判断できるのである。

これら現実を有することは、絶対的な必要性であると考えべきである。なぜならば現実是非情であり、その判断を有するからである。

これら未来という要求に対して自己を有することは、現実において正しいのである。

他方においてはそれら現実に落伍する存在は多いものであり、彼らは未来に落伍するからである。

これらは未来という現実が要求する生活と自己への要求であると考えべきである。今日の大きな変化は、さらなる未来を有するのであり、その理解は正しい自己の構築を求めるものである。

これら変化を理解することは、それらを生き抜くことであり、それにおいて標準的な生活を求めることは正しいのである。



これら現実、日本における中流社会の完全な崩壊を有するものであり、グローバル基準という洗礼は、その偉大な振り分けを行っているのである。

これらは敏感に現実が求めるもの進むものを理解すること、それにおいて生活の構築を行うことを求め、それらは未来という要求に準じた自己を行う必要性があるのである。

これら現実、グローバリズムとその基準における事故と生活の要求であり、未来という新たな現実へ参加を求めるときそれは理解を要求するものである。

これらは、エリートたちの現実を自己とすることはそれら先端性や時代性において要求されるものであり、生活の構築とその基準に準じた生活は変化という現実に対してもその永続を模索できるものなのである。